

## 歴史(日露戦争)

清では、列強の中国分割に反発して、外国の勢力を排除しようとする運動がさかんになった。その中心だった①\_\_\_\_\_は、1900年、北京にある各国の公使館を包囲したが、日本軍を含む連合軍に鎮圧された(②\_\_\_\_\_事件)。その後、ロシアとの対立を強めていった日本は、利害の一致したイギリスと、1902年に③\_\_\_\_\_を結び、ロシアに対抗した。そして、④\_\_\_\_\_年に⑤\_\_\_\_\_戦争が始まったのだが、両国とも戦争の継続が困難になったため、アメリカの仲介により⑥\_\_\_\_\_条約が結ばれた。しかし、この条約は、賠償金が得られないなど、日本の得た権益が少なかったため、国民が政府を攻撃し、東京では暴動をともなう民衆の運動にまで発展した(⑦\_\_\_\_\_事件)。

また、歌人の⑧\_\_\_\_\_は、ロシアと戦争をするべきという⑨\_\_\_\_\_論に疑問を投げかけ、のちに『君死にたまふ、ことなかれ』という詩を発表した。